

第4回 藻岩・南沢地区 学校配置検討委員会

日 時 令和5年(2023年)11月29日(水)18時00分～
場 所 もいわ地区センター 2階集会室A・B

次 第

1 開会

2 事務局挨拶

3 報告

- (1) 第3回検討委員会の振り返り・・・資料1
- (2) 地域や保護者から寄せられた意見・・・資料2

4 協議事項

- ・義務教育学校について・・・資料3

5 次回の学校配置検討委員会の開催日程について

6 閉会

配付資料

- ▶次第
- ▶座席表
- ▶委員名簿
- ▶資料1 藻岩・南沢地区検討委員会ニュース第3号
- ▶資料2 地域や保護者から寄せられた意見
- ▶資料3 義務教育学校について

資料2 地域や保護者等から寄せられた意見

日時・方法等	内容	分類
05.10.24 30代女性 ホームページ	<p>私が住んでいる場所は川沿 16 条2丁目となります。 1 丁目は範囲内であれば2丁目も範囲内をお願いしたいです。 低学年が坂道を登るのは、朝から集中力が奪われ授業中もしかしたら眠気がくるかもしれません。 せめて低学年だけでもお願いします。予定通りに行けばそのときは高学年低学年1人ずつ通う予定です。 未定ですが区役所に行き石山緑小学校に通わせることも考えています。</p>	通学
05.10.30 不明 メール	<p>「学校配置検討委員会ニュース」についても、目を通してはいるのですが藻岩地区全体での検討という話題については、見つけられなかったので問題は大きくはなってしまいますが、「南が丘、南沢、藻岩南」だけの問題にせず、ぜひとも藻岩地区全体での検討進めていただけると幸いです。 人口減少地域の南区においては、今後藻岩地区の学校統廃合の問題は必ずでてくる（特に北ノ沢、藻岩北）かと思えます。現時点で藻岩地区全体の教育環境のランドデザインを描くことはとてもポジティブで攻めた活動と存じます。 大変な作業かとは存じますが何卒ご検討よろしく願いいたします。</p>	取組内容

小中一貫校(平成28年度に制度化)

法整備された仕組みであり、9年間を通じた教育課程の編成や系統的な教育を目指す学校

併設型小学校・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態であり、それぞれに校長、教職員組織を有する学校

義務教育学校

一人の校長の下、一つの教職員組織で義務教育9年間の系統性を確保した教育課程を編成、実施する学校

どちらの学校であっても施設の形態(一体型、隣接型、分離型)は問わない。

札幌市では

一定の条件*を満たす地域については、組織が一つで校舎も一体である義務教育学校の設置を検討することとしたんだよ。

※一定の条件

- 小学校と中学校の校区が概ね一致していること
- 小中一体の校舎である、または小中一体の校舎整備を行うこと

校長が一人

同一の校舎

前期課程
(小学校段階)の児童

後期課程
(中学校段階)の生徒

同じ職員室に
小学校段階と
中学校段階の教職員

9年間を通じた
系統的な教育

札幌市が考える義務教育学校の主な利点

- 札幌市が推進する「小中一貫した教育」の先進的な取組が期待できます。

学びのつながり

9年間を見通した学習指導を行うことで、分かる・できる・楽しい授業による連続性のある教育を推進します。

また、5年生の段階から教科担任制を取り入れるなど、柔軟な学習環境を導入することができます。

9年間の見守り

子ども一人一人の成長を9年間じっくりと見守ることができ、小・中それぞれの指導のよさを取り入れ、子どもの個性をより生かした活動を行うなど、切れ目のないきめ細かな子どもの育ちを支援することができます。

教職員の連携・協働

子どもに分かりやすく指導できる小学校の先生と、教科の専門性を生かして指導できる中学校の先生の日常的な連携・協働により、先生方の授業力の向上が期待できます。

学校・家庭・地域のつながり

目指す子ども像等の実現に向けて、学校・家庭・地域で連携・協働しながら、9年間安定した関わりをもつことができます。

- 学校が目指す子ども像の実現に向けて、学年の区切りを柔軟に設けたり、日常的に幅広い異学年交流を行ったりすることができます。

他都市では、9年間で4年-3年-2年に区切るなどの事例があります。

他都市の事例

前期課程				後期課程				
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
1年～4年(最初の区切り)				5年～7年(接続する区切り)			8・9年(最後の区切り)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 4年生をリーダーとした縦割り活動 ● 1～4年生で学習発表会を実施 				<ul style="list-style-type: none"> ● 5年生段階から教科担任制の一部実施 ● 委員会活動、部活動 ● 5年次からの50分授業 			<ul style="list-style-type: none"> ● 学校のリーダーとしての活動 	

子どもの「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実につながります



取組（例）

●学年の区切り（指導区分）

学校が目指す子ども像の実現に向けて、学年の区切りを柔軟に設けることができます。

他都市の事例

9年間で4年－3年－2年に区切る場合

前期課程（1～6年生）						後期課程（7～9年生）		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
1年～4年（最初の区切り） ・4年生をリーダーとした縦割り活動 ・1～4年生で学習発表会を実施				5年～7年（接続する区切り） ・5年生段階から教科担任制の一部実施 ・委員会活動、部活動 ・5年次からの50分授業		8年～9年（最後の区切り） ・学校のリーダーとしての活動		

札幌市の事例（検討状況）

学校名	学年の区切り	状況
義務教育学校福移学園	5年－4年の区切り	取組初年度
義務教育学校定山溪学園	4年－3年－2年の区切り	検討中
（仮称）真駒内地区義務教育学校	—	検討中

期待されること（例）

- リーダー性の育みの一層の充実 **【多様なリーダー体験】**
- 学びの広がり・深まり **【異学年合同授業、異学年合同行事、5年次からの教科担任制】**

よくある質問

Q)入学式や卒業式はどうなりますか。

A)一つの学校になることから、入学式が1回、卒業式が1回となります。ただし、学年段階の区切りを踏まえ、児童生徒の新たな段階に入る自覚を高めるような行事等を行うことも可能ですので、今後、学校で検討してまいります。

Q)制服や学校行事はどうなるのでしょうか。

A)現時点では決まっていません。義務教育学校の設置が確定した後、学校が保護者、地域と相談しながら検討していきます。

Q)義務教育学校になることで先生が減るのではないのでしょうか。

A)義務教育学校は、小中を一つの学校としますが、教員配置は通常の小中学校と同様、小学校段階、中学校段階それぞれの児童生徒数に応じて算出することから、先生が減ることにはなりません。

Q)中学校の学習を小学校で先取りできるのですか。

A)中学校段階の授業の先取り(指導内容の入替え)も制度的には可能です。しかし、札幌市においては、転出入者への学習指導上の対応の観点から行わないこととしています。

- 9年間の円滑な学びのつながりの重視 **【教育課程と指導区分の区切りを効果的に活用した教育活動】**
- 発達の段階に応じた成長の促し **【小学校卒業・中学校入学とは違う新たな節目を意識した教育活動】**

取組（例）

●前期課程と後期課程、学年の区切り（指導区分）の関わりを生かした活動

日常的に幅広い異学年交流を行ったりすることができます。

他都市の事例

- 既習の想起の際に、実際に授業を見学する機会を設定
- 同一・類似単元等における合同授業
 - ・部分的に一緒に考えたり、部分的に上級生が下級生に教えたりする場面の設定
- 学習したことの発表交流
 - ・4年生と7年生合同、5年生と8年生合同等、前期課程と後期課程の関わりを生かした交流
- 実技教科における合同授業
 - ・部分的に上級生が下級生に教えたり、一緒に考えたりする授業
- 学習発表会を1～4年生で実施。5年生以上は合唱発表会を実施。
- 生徒会役員の立候補は7年生から

札幌市の事例（検討状況）

- 低ブロック（1～4年）または中ブロック（5～7年）段階において、中学校教員による専科指導を実施

※福移学園

3年生は（社会）、体育、外国語

4年生は社会、理科、音楽、（体育）、外国語

5年生は算数、音楽、図工、体育、外国語

6学年は全教科（社会）（算数）

前期課程または後期課程の教員による教科担任制

- 学校行事の際にブロックごとで活動を行い、各ブロックの最高学年がリーダーとして活躍する場面を設定
- 複数学年による旅行的行事の合同実施
- 児童生徒会活動を5年生以上を中心として企画・運営し、自治的な活動を推進。

福移学園の取組より



【前後期合同の運動会】

運動会は全校で実施しました。学年やブロックごとの発表もありますが、綱引きは前後期合同のチームです。



【前後期合同の総合的な学習の時間】

福移学園は農園体験に力を入れています。作物の管理や収穫祭の運営等は後期課程の生徒が中心に行います。



【立会演説会】

後期（10月）から6年生が生徒会に所属するため、生徒会役員選挙に向けた演説会を実施しました。ここから、5年生が前期課程のリーダーとなります。



【保体常任委員会の取組】

後期が始まった後、早速6～9年生の保体常任委員会で「健康運動」の取組を企画・実施しました。9年生は役員を引退していますので、8年生がリーダーとなって企画・運営します。



【前期課程の縦割りの活動】

小学校ではよくある学年縦割りの活動ですが、福移学園では学年の区切り（指導区分）により、後期から5年生がリーダーとなっています。



【異学年によるコラボ授業】

国語科において、1年生が7年生に、2年生が9年生に朗読劇を披露しました。内容に応じて、他教科でも積極的にコラボ授業を実施しています（家庭と技術・家庭、音楽、体育等）。異学年が連携をしやすい環境です。

どさんこワイド179にて、福移学園が紹介されました。

